

News Letter

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団 〒105-0014 東京都港区芝3-16-13 MARUWAビル 2階
TEL：03-5419-6513 FAX：03-5419-6514 URL：http://www.mwf.or.jp E-mail：info@mwf.or.jp

第11回CAFフラメンコ・コンクール(海外派遣事業)開催日決定!

令和2年度事業状況のご報告

2020年は新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、感染拡大防止対策として、多くの方が集まるイベントや行事等の参加・開催の自粛が必要とされる年となりました。毎年恒例の東京と名古屋でのワークショップの中止、隔年開催のCAFフラメンコ・コンクールの延期(新たな日程は下記の通り)、今年度選考された助成作品の多くが延期となりました。また、スタジオCASA DEL ARTEも閉館し、お教室を運営されている先生方、クラスを楽しみにされている生徒の皆様にご利用頂

けないことは私共にとっても辛い出来事とございました。

新型コロナウイルスによって延期を余儀なくされた助成作品につきましては、今年度以降に延期される場合も引き続き、助成させて頂くことと致しました。未だ終わりの見えない新型コロナウイルスですが、皆さんの希望となる舞台を微力ながらサポートさせて頂く所存です。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。

募集要項

一次予選 応募DVDによるビデオ審査

受付期間：2021年9月1日(水)～15日(水)【必着】

■日時・会場

[二次予選] 2022年1月5日(水)15:30～ 北千住 Theatre1010(シアターセンジュ)
[本選] 2022年2月28日(月)16:00～ 北千住 Theatre1010(シアターセンジュ)

■賞

優勝 賞金100万円(含スペイン研修費)+スペイン往復航空券
準優勝 賞金50万円(含スペイン研修費)+スペイン往復航空券
海外留学賞 スペイン留学資格+滞在費補助+スペイン往復航空券
ファイナリストは、当財団主催の東京ワークショップにご招待いたします。

■応募資格

スペインでフラメンコ研修を希望する35歳以下の方(2021年3月31日時点)

■応募受付方法

当財団ホームページの第11回CAFフラメンコ・コンクール応募受付方法の「お問合せ」から、お問合せ内容に「コンクール応募」を選択し送信してください。応募用紙をメール配信いたします。応募用紙に必要事項を記入し、写真2枚(うち1枚は参加申込書に貼付)、生年月日を証明できる書類(パスポート、運転免許証等)のコピー、一次予選参加料振込明細書のコピー及び、一次予選画像DVDを当財団宛にご郵送下さい。【2021年9月15日(水)必着】

※応募にあたりビデオ撮影の場所など、お困りの事がございましたらお問合せ下さい。

■課題曲・制限時間

(一次予選) ビデオ審査 CD、テープ等の音源可。

(二次予選) 舞台上での審査

- ・アレグリアス系、ソレア系あるいはシギリージャ系(5分以内)※一次・二次は同じ曲でも可。
- ・演奏者は3名までとし、ギター・カンテ・パルマのいずれかで構成する。CD、テープ等の音源による参加は不可。

(本選) 舞台上での審査

- ・自由曲1曲(7分以内) ※予選以外の曲
- ・演奏者は3名までとし、ギター・カンテ・パルマのいずれかで構成する。CD、テープ等の音源による参加は不可。



詳細は財団ホームページをご確認下さい。

海外派遣事業スペイン研修報告

第10回 CAF フラメンコ・コンクールで受賞され、スペインでの研修を終えた中原潤さん、谷口祐子さん、伊藤笑苗さんよりレポートが届きましたのでご報告をさせていただきます。



【優勝】 中原 潤

2019年8月28日～2020年3月18日迄マドリッドに滞在。9～15時は「Real Conservatorio Profesional de Danza MARIEMMA」にてフラメンコ、バレエ、コンテンポラリー、スペイン舞踊全般を学び、17～19時は「Amor de Dios」にてAlfonso Losa、María Juncal、Pedro Córdoba等に師事、フラメンコを学びました。

「MARIEMMA」では毎週土曜日にも、振り付けから群舞のフォーメーションを含めた実践的な課外授業が行われており、各作品ごとに特別な講師を招いていて、「Ballet Nacional de España」のプリンシパルやフラメンコではAntonio Canalesなどに習う大変貴重な機会を得ました。

またタブラオやペーニャ、テアトロでもたくさんの素晴らしい公演があり、2月にはFestival de Jerezの公演を観る事も出来ました。

そして1月よりマドリッドのタブラオTaberna Flamenca El Cortijoに数回出演させて頂き、本場の舞台上で踊らせて頂く貴重な一歩となりました。

【将来の抱負】

今後もタブラオやテアトロでの活動を精力的に行い、この度の留学経験を生かし、オリジナルの舞踊作品を作り出していきたいです。また日本、スペイン問わず今ある環境の中で最大限フラメンコを学んでいきます。



【準優勝】 谷口 祐子

クリスティーナ・ヘーレン財団フラメンコ芸術学校にて4ヶ月半学ばせて頂きました。

平日は毎日授業があり、基本的には1限目座学、2限目テクニカ、3限目コンプリメント、4限目振付、5限目タブラオというものでした。座学では、フラメンコの歴史や歌の種類などを、フラメンコがどのように変化してきたか、どのように受け継がれてきたか、知識として多くの事を学びました。テクニカの授業では、フェルナンド・ヒメネスからサパテアード、プエルタを重点的に学び、体幹の重要性を改めて認識しました。ルイサ・パリシオによるコンプリメントの授業は、バタ・デ・コーラとマントンのテクニカを学び、最後はカンティーニャスを振り付けて頂きました。ハビエル・バロンによる振付の授業では、ソレア・ボル・ブレリア、タラントの振付をして頂きました。タブラオの授業は、カンテ、ギターの練習生と合同で行われ、授業の中でタブラオを経験できる内容でした。カンテ、ギターの練習生との練習は初めての経験で、多くの学びがありとても新鮮でした。今まで群舞を踊る事が多かった私にとって、タブラオでの踊りは経験値が少なく、とても難しかったですが、授業で踊るたびに舞台上に立つ事と同じ経験が出来、もつといろいろな踊りをここで学びたかったと思いました。この他にも舞台作品を作る授業があり、一から舞台を作る難しさ、魅せる事、伝える事の難しさを実感しました。学期末にはガラがあり、自分で取り組んだ作品の上演、振り付けて頂いたカンティーニャスと群舞でタラントを踊りました。作品の上演は反省するところや失敗も多くあり、いつかもう一度この作品に取り組むことを目標に今後も頑張っていきたいと思います。クリスティーナ・ヘーレン財団フラメンコ芸術学校は一流の講師陣が揃っている上に、生徒ひとり一人をよく見て指導してくださるので、本当に贅沢な毎日でした。

私は、この留学が初めてのスペイン滞在であり、スペインの文化や風習に戸惑う事も多かったのですが、フラメンコを踊る上で、スペインを知る事は本当に不可欠だと実感しました。10年ぶりの学生生活は体力的にも精神的にも大変でしたが、毎日フラメンコの事だけを考え、フラメンコをたくさん見て、感じて、練習して、スペインでの日々で学ぶ事は得るものが多かったです。

コンクールでの受賞に伴う留学でなければ、スペイン留学は叶いませんでした。このような大変貴重な機会をくださったMARUWA財団に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

【将来の抱負】

スペインで学ぶ事ではっきりと見えてきた自分の課題を、まずは日々の鍛錬で地道に克服していきたいと思います。将来的には、舞台上のフラメンコがもっと日本でも一般的になってほしいので、舞踊団活動をはじめ、舞台を作り上げる事に関わっていきたいです。目標としては自分で考えた作品を、いつか上演するところまで頑張りたいと思います。



【海外留学賞】 伊藤 笑苗

装飾の込んだ建物、カラフルな服、どこまでも澄み渡る空、騒がしい人々…初めてのセビージャに圧倒されつつ私の留学生活はスタートしました。留学先はFundación Cristina Heeren。朝は9時から歴史と理論の授業を受け、その後テクニカ、パタとマントン、振り付け、タブラオ、フラメンコのための音楽のクラスなどを受けました。放課後は自主練に行くか、タブラオやその他の舞台を見て過ごすことが多かったです。主に師事したのはJavier Barón、Milagros Mengibar、Luisa Palicio、Fernando Jiménezで、その他にもゲスト講師など新旧さまざまなスタイルをもつ踊りに習うことができました。3月の中頃には緊急事態宣言が発令され、学校は閉鎖、自主練にも行けない状態となったのですが、幸運なことに知り合いのスペイン人宅に招いていただき、そこでオンラインクラスを続けることができました。学期に区切りをつけ、7・8月と一時帰国をし、9月より再び同学校へと戻りました。パンデミックの影響で終了することができなかった3か月分の実技クラスを受けるためです。検温、ソーシャルディスタンス、マスク着用ではありますが、再び生でクラスを受けれることを嬉しく思います。まだ1か月ほど留学生活は残っていますが、これまででも十分に日本にいてはできないことを盛りだくさんに経験できたと感じております。残す日々も充実させられるように全力を尽くしたいと思います。

【将来の抱負】

今回の留学では踊りの技術はもちろんですが、それ以上に歴史やカンテ、ギターについて、また舞台上でどのように演者とコミュニケーションをとるのかを重点的に学ぶことができました。日本にいてフラメンコを学んでいるとこれらの知識は不足しがちだと思います。今後はこの経験を活かし、自分が踊る際には演者内でスムーズなコミュニケーションを取り合い、質の高いフラメンコを創りたいです。また、身近なフラメンコを志す仲間に私が得た知識を惜しみなくシェアし、少しでもスペインと日本の間にある知識の差を埋められたらと思います。

令和元年度 助成作品 報告

令和元年度の助成作品のうち、下半期に上演予定であった3公演、平富恵スペイン舞踊団(代表:平富恵さん)「夢、フランコの粹と情熱/Hokusai Flamenco Fantasy～葛飾北斎の浮世絵世界～」<助成金額:120万円>、今枝友加里サイタル事務局(代表:今枝友加さん)「今枝友加里サイタルvol.6『SINVUELO』」<助成金額:60万円>、トルネージョ(代表:森田志保さん)「森田志保フラメンコ公演『はな10』」<助成金額:40万円>のご報告をさせていただきます。

平富恵スペイン舞踊団

「夢、フランコの粹と情熱/Hokusai Flamenco Fantasy～葛飾北斎の浮世絵世界～」

公演中止による助成辞退

今枝友加里サイタル事務局

「今枝友加里サイタルvol.6『SINVUELO』」

新型コロナウイルスの影響で延期 2021年5月15日振替公演予定

トルネージョ

「森田志保フラメンコ公演『はな10』」

森田 志保

2019年12月4日(水) ロームシアター京都 ノースホール/1回公演、
2019年12月7日(土) ソノリウム/2回公演。回を重ねて続けていくことの難しさを実感します。自分ひとりでは何もできないことも痛感します。そこを支えてくださるMARUWA財団の活動の有難さ。大きな責任の中、助成をしてくださることの後押しによって、前を向いて歩いていくことができます。

ずっと続けてきた「はな」シリーズも今回で10回を数えました。これに取り組んだことで自分の中に変化も感じましたし、この先取り組むべきことも見えてきました。それを支えて導いてくれたダビ、アルフレッド、ラゴス兄弟。彼らの仕事は素晴らしかったです。質の高いあたたかいシルクのようなものでした。フラメンコという世にも素晴らしいものに関われる幸せを感謝と共に還元できるよう、また一歩ずつ歩を進めていきたいと思っています。ありがとうございました。



撮影者:加藤善雄

令和2年度 助成作品 決定

応募者名・作品名	決定助成金額	公演予定日
工藤朋子 工藤朋子「あぜ道」VOL.3	100万円	2020年11月4日・5日 於：ムジカーザ(代々木上原) ※新型コロナウイルスの影響により延期
エストゥディオ・ラ・フェンテ 田村陽子フラメンコ生活25周年記念公演 「La Serpiente ～蛇になった女～」	80万円	2020年10月21日 於：渋谷区文化総合センター大和田4階さくらホール ※新型コロナウイルスの影響により延期
DANZARTE スペイン舞踊団 「書とフラメンコ～書道とスペイン舞踊の競演～」	60万円	2020年10月17日・18日 於：座・高円寺2(東京都杉並区) ※新型コロナウイルスの影響により延期
一般財団法人エルスール財団 野村真里子引退フラメンコ公演「michiyuki」	60万円	2020年10月10日・11日 於：草月ホール
東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会 「スペイン舞踊部カンテ研究会 第27回リサイタル」	10万円	2020年4月17日 於：東京外国語大学アゴラグローバル内プロメテウスホール ※新型コロナウイルスの影響により延期

令和2年度の助成作品は上記5作品に決定致しました。うち4作品は新型コロナウイルスの影響で延期となりました。無事公演を終えられた一般財団法人エルスール財団(代表：野村真里子さん)より、公演の感想を頂きました。

野村真里子引退フラメンコ公演『michiyuki』

野村 真里子

思いもよらぬコロナ禍に見舞われた今年、公演を開催するかどうかでずいぶん悩みました。振付のため滞在していたスペインからも3月半ばに緊急帰国せざるを得なくなり、また予定していたスペイン人アーティストの招聘もめどが立たず、心が折れそうになった時期もありました。でも、「アートを、そして劇場公演を止めたくない」という強い思いに突き動かされ、10月10日、11日の2日間、予定通り開催いたしました。客席数を大幅に減らし、さまざまな感染対策を行ったうえでの公演でした。劇場クラスターを引き起こすこともなく終わられたことには、ほっと安堵いたしております。貴財団からは、舞踊団旗揚げ公演『王女メディア』、コンテンポラリーダンスの鬼才伊藤キムさんとのコラボレーション公演『ututu』、そして今回の引退公演『michiyuki』と、3度助成事業に選んでいただき、まことに光栄に存じます。おかげさまで、2日間ともお客様の温かい拍手をいただき、無事に引退することが出来ました。引退後はプロデュースや後進の指導を中心にした活動になりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



撮影者：大森有起

令和3年度 助成事業 募集案内

■助成金

〈プロ枠〉総額 300万円 〈学生枠〉総額 50万円

■助成対象

2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木)までに終了予定のフラメンコやフラメンコ音楽の普及、向上につながるような個人或いは団体が主催する国内公演、イベント企画(プロ枠)、学校の部活やサークルなど学生が運営する国内公演、イベント企画(学生枠)で、他機関からの助成を受けていないもの。過去に当財団の助成を受けた場合でもご応募いただけます。

■応募方法

当財団ホームページの助成事業のお問い合わせフォーム(<https://mwf.or.jp/contact/>)より「助成応募用紙」をお申し込みください。応募用紙に活動の企画、予算、過去の芸術活動等を要約してご記入の上、台本或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD(10分間)と共にご郵送ください。

■応募受付期間

2021年1月10日(日)～2月9日(火)【必着】

■選考結果

意欲的で優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を2021年3月31日(水)までに各団体宛に通知いたします。尚、助成金支給は公演終了後1か月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■お問い合わせ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA財団
〒105-0014 東京都港区芝3-16-13
MARUWAビル2階
Tel.03-5419-6513
Fax.03-5419-6514
E-mail info@mwf.or.jp
URL <http://www.mwf.or.jp/>